

2023年10月13日
西日本旅客鉄道株式会社
竹原市

竹原駅前エリアブランディングプロジェクト 竹原駅トイレ改修とレンガを活用したワークショップの開催

竹原駅前エリアについては、昨年度地域住民を中心としたワークショップを開催し、「わたしの“まち”を楽しむ駅」というコンセプトを策定し、今年度はコンセプトに定めた「地域が自分たちでできること」を当社も協力して実現に向けて取組んでまいりました。

今回、上記事業の一環として駅トイレ改修と地域住民参加のワークショップを開催します。

1. 竹原駅トイレリニューアルの経緯

竹原駅トイレは、エリアブランディング事業のワークショップや子育て世代向けのアンケートで綺麗にして欲しいとの要望もあり、コンセプトにもトイレ魅力化プロジェクトを取組みの一つとして定めたところ、竹原市のご協力もあり、今年度実施することとなりました。

2. リニューアル概要

- (1) 施工内容 洋式化（温水洗浄便座）、トイレブース拡張、内装改修 等
- (2) 供用開始日 11月3日（金）

3. ワークショップ（みんなで作る竹原駅の新トイレ）の開催概要

新しくなるトイレを竹原市の皆様に愛着を持って利用いただくために、竹原市の特産品である吉名の松本煉瓦株式会社のレンガタイルを外壁に貼り付けるワークショップを竹原市の事業として実施します。

第1回：9月23日（土） レンガタイルに名前等をスタンプで押捺

第2回：10月21日（土） 竹原駅トイレの外壁にレンガタイルを貼り付け



【竹原駅前エリアブランディングプロジェクト】

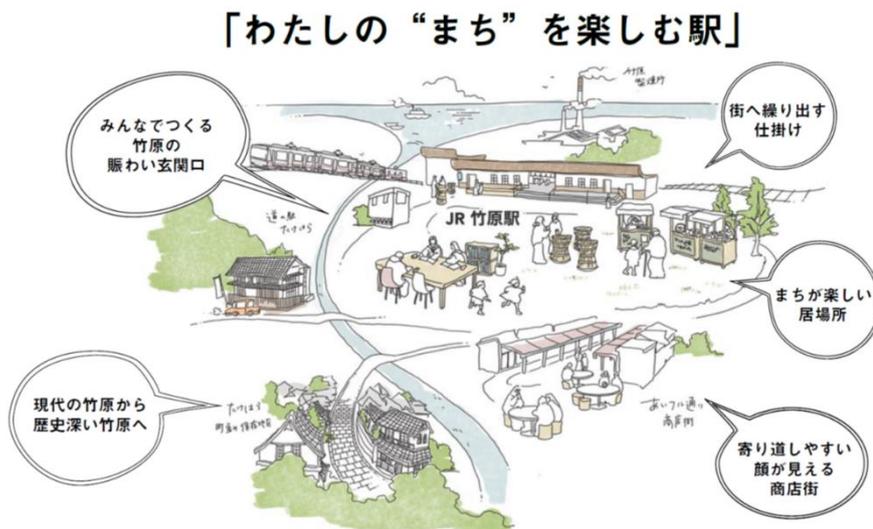
1. 事業概要

中国経済産業局の「令和4年度中国地域エリアブランディング実証事業」に竹原市が採択を受け、まちの玄関口の一つである竹原駅と駅前エリアの未来について、地域住民、駅前商店街事業者、竹原高校の生徒、大学生、関連団体などが参加したワークショップと実証事業を実施し、エリアブランディングのコンセプトを策定しました。当社は協力事業者として参加しております。

※実証事業およびワークショップの企画運営は（株）良品計画

2. コンセプト

ワークショップで出た様々な意見から共感できるキーワード「待ち時間」「まち」「みんなが思い思いに過ごせる」等を整理し、「わたしの“まち”を楽しむ駅」を未来の竹原駅前エリアのブランディングコンセプトとしてまとめました。



3. コンセプトシートから実現した事業

エリアブランディング事業では、「わたし“たち”にできること」として自分事化することをテーマに、取り組みたい事業の実現に向けて取り組みを進めてまいりました。

(1) 地域交流拠点（コミュニティカフェ）の整備

駅前商店街の竹原駅側のところに、社会福祉法人的場会がコミュニティカフェ「Mio Cafe Takehara」を2023年10月9日（月）にオープンしました。

わたし“たち”にできること、わたし“たち”がやること

地域交流の拠点『Mカフェ』の整備（案）

共創・はぐくみ・かたちにする 期の広場
YAMAGUCHI UNIVERSITY
山口大学

MUJI
無印良品

まどばと

※イメージパース（案）

竹原駅と駅前エリアを繋ぐ場所に高齢者と「わかもの」（高校生・中学生）と観光客が心地良く滞在し、交流が生まれ、案内機能（パルマン）と回遊促進機能（マップ・スマートインフォメーション）を持たせたパルをよそもの（山口大学と無印良品）でデザインし、ばかもの（的場会）が整備。



(2) デジタルマップ「竹原 to Go」作成ワークショップ
2023年2月の実証事業でも実施した参加型マップ
「竹原 to Go」について、デジタル化に向けたワーク
ショップを2023年秋以降に開催します。

「竹原 to Go」とは、地域内外から竹原に関わる方が、
地域住民等との交流を通して魅力を感じた場所や体験を
マップにして情報発信する取組みです。



(3) 商店街と町並み保存地区を巡るデジタルまち歩きラリー
JR西日本が提供する北陸・せとうち観光ナビ「tabiwa by
WESTER」を使って、駅前商店街、町並み保存地区を巡る
キャンペーンを開催します。

駅前商店街と町並み保存地区の対象店舗を3店舗巡る
ごとに「たけはらキャンベルゼリー」をプレゼント。

【開催期間】

2023年10月1日（日）～2023年11月30日（木）



4. トイレワークショップ（9月23日）の様子

竹原市吉名町の松本煉瓦株式会社にて、焼成前のレンガ
タイルに参加者が名前など好きな言葉をスタンプする
ワークショップと工場見学を行いました。



※松本煉瓦株式会社

竹原市吉名町は、レンガの原料となる鉄分を豊富に含む
良質な赤土が採れる上に、瀬戸内海に面しており輸送に
適していたことから、明治時代からレンガの生産地と
なっています。

吉名町の松本煉瓦株式会社には、美しい煉瓦が並べられ、
青空との美しいコントラストが映えています。

